

【様式】 第 2 号の 1 ～ 4 - ②

専門学校

(注) 様式第 2 号の 1 - ②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1 - ①を用いること。

(注) 様式第 2 号の 2 - ②

※様式第 2 号の 2 - ①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

(注) 様式第 2 号の 4 - ②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4 - ①を用いること。

(申請書を作成する際には、1 頁目を削除すること)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	フォーラム情報アカデミー専門学校
設置者名	学校法人 実学教育学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報ソフトウェア科 グローバルITコース	夜・通信	783 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 https://forum.ac.jp/information-disclosure

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	フォーラム情報アカデミー専門学校
設置者名	学校法人 実学教育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>例年開催される第1回教育課程編成委員会(通常8月)での教育課程の検討を受けて、教務を中心に各授業担当の意見等を取り纏め、翌年度の教育課程の編成を行う。第2回教育課程編成委員会(通常1月)において、翌年度教育課程の検討を経て、授業科目とその目的の設定、授業内容、時間割、担当教員等を教務運営会議にて決定する。各授業担当教員は、学則に記載されている授業日程をもとに授業時間、授業の目的、到達目標、成績評価方法、テキスト、授業計画といった決められた事項について、各学科とも統一した書式で作成し、教務運営会議にて確認する。すべての授業科目について授業計画書(シラバス)の内容を検討した後、HP等にて公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>HPに掲載</p> <p>https://forum.ac.jp/information-disclosure</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修成果は、各授業担当教員が、授業計画書(シラバス)で公開した評価方法で、目標達成度、学習態度・意欲、試験、成果発表、課題提出物等により100点満点で採点し、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(60点未満)の5段階で評価する。S、A、B、Cは合格とし、Dは不合格とする。毎年度末に行われる進級認定会議、卒業認定会議において、全学生を対象に出席率が80%以上、かつ成績Dのない学生に対して進級・課程修了の認定を行う。授業計画書(シラバス)は学校HPにて公開している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の成績は、シラバスで公開した評価方法により 100 点満点で採点し、S 90 点以上)、 A 80 点以上)、 B 70 点以上)、 C 60 点以上)、 D 50 点未満) の 5 段階で評価する。各学生の履修科目の成績を、S (4)、A (3)、B (2)、C (1)、D (0) のグレード・ポイント (GP) に変換し、GP に当該科目の授業時間数を乗じて、その総和を履修総授業時間数で除した値を客観的な指標とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>HP に掲載</p> <p>https://forum.ac.jp/information-disclosure</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>当校は教育方針として「実学による職業実践専門教育を推進し学生の価値を創り出す。」を掲げている。当校の考える「学生の価値」とは、「習得した知識、技術、資格を活用するための実践力と応用力を身につけること」「社会や組織に対応する人間力・コミュニケーション能力を身につけること」「多文化との交流により、国際化に対応した理解力と想像力を身につけること」「将来社会に貢献し、幸せな人生を送るための、キャリア計画を立てること」で創り出されると考える。所定の課程を修了したものは、毎年度末に行われる卒業認定会議により、学修成果の目標である「社会人基礎力と専門知識を身につけ、国際化に対応したグローバル人材」となる能力を身につけたとして卒業を認定している。当校では、ディプロマ・ポリシー (卒業認定の方針) を策定し、HP に公開している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>HP に掲載</p> <p>https://forum.ac.jp/information-disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	フォーラム情報アカデミー専門学校
設置者名	学校法人 実学教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をHPに公開している。 https://forum.ac.jp/information-disclosure
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	情報ソフトウェア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1704 単位時間	95 単位時間	405 単位時間	1204 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
	夜		1704 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		61人	61人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】を参照
学修支援等
（概要）産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズと そのために必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。 授業は、理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外 で、学生が自主的に学べるように、図書室、教室等を使用可能としスキル向上のため の取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 2023年度 卒業生 0名			
（就職指導内容） 2023年度 卒業生 0名 2024年度卒業生に対しては、学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職指導室を設置、専用 Web サイトで各種イベント・求人情報の発信を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	2人	0%
（中途退学の主な理由） 進路変更による退学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生のような相談を受ける「相談窓口」・「相談室」を設置し、勉強以外の生活面についても、担当者が親身に相談に乗り解決に寄り添っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報ソフト ウェア 科	120,000 円	600,000 円	500,000 円	その他 (内訳) 施設費 200,000円 維持費 100,000円 教材費・実習費 200,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
学費の支払い (奨学金・各種ローン) 日本学生機構等の奨学金需給相談、手続き等をサポートします。また、学費の支払いに対して、各種ローンの紹介、手続きサポートを行います。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://forum.ac.jp/information-disclosure
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ① 主な評価項目 (教育課程、進路指導など) 「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省:平成25年3月)に基づいた評価項目による評価を行う。 (評価項目) (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 ② 学校関係者評価委員会は、(1) 関連業界等関係者、(2) 卒業生、(3) 保護者、(4) その他校長が必要と認めた者の区分のいずれかから校長が委託する委員計5名以上により構成する。 ③ 評価結果の活用方法 (評価結果を踏まえた改善方策の実施時期や責任者など) 委員会を毎年8月に実施し、学校関係者から自己評価結果について評価・助言をもらうこと基本としている。また、当校の教育活動を振り返り、それぞれの視点から学生のためにより良い学校運営のため、校長への提言に活用している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社メガシステムズ 代表取締役社長	2023. 4. 1 ～2025. 3. 31	企業委員
株式会社ラネクシー 取締役	2023. 4. 1 ～2025. 3. 31	企業委員
株式会社ポルトプラディア 代表取締役	2023. 4. 1 ～2025. 3. 31	企業委員
クレアニーズ株式会社 新潟支社長	2023. 4. 1 ～2025. 3. 31	企業委員
アダム・イノベーション株式会社 代表取締役 社長	2023. 4. 1 ～2025. 3. 31	企業委員
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)